

# 小学校国語部会



徳島県教育委員会

## 1 学習指導要領国語科改訂の主なポイント

国語科において育成を目指す資質・能力の整理 <span style="float: right;">別添2-1</span>		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の働きや役割に関する理解</li> <li>○言葉の特徴やまじりに関する理解と使い分け                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き言葉(文字)、話し言葉、言葉の相づき(方言、敬語等)</li> <li>・語、語句、語彙</li> <li>・文の成分、文の構成</li> <li>・文章の構造(文と文の関係、段落、段落と文章の関係)</li> </ul> </li> <li>○言葉の使い方に関する理解と使い分け                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方、書き方、表現の工夫</li> <li>・聞き方、読み方、音読・朗読の仕方</li> <li>・話合いの仕方</li> </ul> </li> <li>○書写に関する知識・技能</li> <li>○伝統的な言語文化に関する理解</li> <li>○文章の種類に関する理解</li> <li>○情報活用に関する知識・技能</li> </ul>	<p>国語で理解したり表現したりするための力</p> <p>【創造的・論理的思考の側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢情報を多面的・多角的に精査し構造化する力                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・推論及び既有知識・経験による内容の補足、精緻化</li> <li>・論理(情報と情報の関係性:共通-相違、原因-結果、具体-抽象等)の吟味・構築</li> <li>・妥当性、信頼性等の吟味</li> </ul> </li> <li>➢構成・表現形式を評価する力</li> </ul> <p>【感性・情緒の側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力</li> <li>➢構成・表現形式を評価する力</li> </ul> <p>【他者とのコミュニケーションの側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢言葉を通じて伝え合う力                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手との関係や目的、場面、文脈、状況等の理解</li> <li>・自分の意思や主張の伝達</li> <li>・相手の心の想像、意図や感情の読み取り</li> </ul> </li> <li>➢構成・表現形式を評価する力</li> </ul> <p>＜考えの形成・深化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢考えを形成し深める力(個人または集団として)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を編集・操作する力</li> <li>・新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力</li> <li>・新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が持つ曖昧性や、表現による受け取り方の違いを認識した上で、言葉が持つ力を信頼し、言葉によって困難を克服し、言葉を通して社会や文化を創造しようとする態度</li> <li>・言葉を通じて、自分のもの見方や考え方を広げ深めようとするともに、考えを伝え合うことで、集団としての考えを発展・深化させようとする態度</li> <li>・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にすることで自覚するとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通して、心を豊かにしようとする態度</li> <li>・言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度</li> <li>・我が国の言語文化を享受し、生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとする態度</li> <li>・自ら進んで読書をし、本の世界を想像したり味わったりするとともに、読書を通して様々な世界に触れ、これを積極的に体験したり知識を獲得したり新しい考えに出会ったりするなどして、人生を豊かにしようとする態度</li> </ul>

### 「資質・能力」の三つの柱で目標・内容を整理

## 1 学習指導要領国語科改訂の主なポイント①

### — 目標及び内容の構成 —

#### ①目標の構成の改善

○国語科で育成を目指す資質・能力を規定

○「知識及び技能」

「思考力, 判断力, 表現力等」

「学びに向かう力, 人間性等」

の三つの柱で整理

○「言葉による見方・考え方」を働かせる必要性を示す

## 1 学習指導要領国語科改訂の主なポイント①

### ②内容の構成の改善

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力, 判断力, 表現力等〕

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

現行学習指導要領 国語科	新学習指導要領 国語科
(3領域) A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと	〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方 (2) 情報の扱い方 (3) 我が国の言語文化
(1事項) 伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと

5

## 1 学習指導要領国語科改訂の主なポイント② — 学習内容の改善・充実 —

- ①理解したり表現したりするために必要な語句を身に付け、話や文章の中で使うことを通して、**語感を磨き語彙を豊かにする指導の改善・充実**
- ②論理的な思考力の育成につながる**情報の扱い方**に関する事項の新設
- ③**学習過程の一層の明確化**, 各過程における学習内容の改善・充実, 「**考えの形成**」の重視
- ④**我が国の言語文化**に関する指導の改善・充実
- ⑤漢字指導の改善・充実 ← 移行期より

6

## 2 国語科の目標の改善

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

7

## 2 国語科の目標の改善

- (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

8

## 2 国語科の目標の改善

(1) **日常生活**に必要な国語について、その特質を理解し適切に**使うことができるようにする**。

○主として「知識及び技能」に関する目標

○目標に示された知識及び技能を、日常生活における様々な場面で、**主体的に活用できる、生きて働く知識及び技能として習得**することが重要になる。

9

## 2 国語科の目標の改善

(2) **日常生活**における**人との関わりの中で伝え合う力**を高め、思考力や想像力を養う。

○主として「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

○思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。こうした力を**未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等**として育成することが重要になる。

10

## 2 国語科の目標の改善

(3) **言葉がもつよさを認識**するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその**能力の向上を図る態度**を養う。

○主として「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の育成を**支えるもの**であり、**併せて育成**を図ることが重要である。

11

## 2 国語科の目標の改善

○「**言葉による見方・考え方を働かせ**」とは

児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり、問い直したりして、**言葉への自覚を高めること**。

言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものが学習対象

深い学びの鍵となる

12

## 2 国語科の目標の改善

### 学年の目標

- (1)「知識及び技能」…全学年同じ
- (2)「思考力・判断力・表現力等」

#### 考える力

順序立てて考える力(第1学年及び第2学年)  
筋道立てて考える力(第3学年以降)

#### 自分の思いや考え

もつこと(第1学年及び第2学年)  
まとめること(第3学年及び第4学年)  
広げること(第5学年及び第6学年)

13

## 2 国語科の目標の改善

### 学年の目標

- (3)学びに向かう力・人間性等

#### 言葉のもつよさ

感じること(第1学年及び第2学年)  
気付くこと(第3学年及び第4学年)  
認識すること(第5学年及び第6学年)

#### 読書

楽しんで(第1学年及び第2学年)  
幅広く(第3学年及び第4学年)  
進んで(第5学年及び第6学年)

14

## 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善①

### [知識及び技能]の改善点1

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項

#### ○言葉の働き ア

言葉がもつ働きや役割に改めて気付くことで、児童は言葉を自覚的に用いることができるようになる。

平20～事物の内容を表す, 経験したことを伝える  
(第1・2年)

平20～考えたことや思ったことを表す (第3・4年)

(新) 相手とのつながりをつくる (第5・6年)

15

## 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善②

### [知識及び技能]の改善点2

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項

#### ○漢字 エ

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
現行(字)	80	160	200	200	185	181	1006
次期(字)	80	160	200	202	193	191	1026
増減	0	0	0	+2	+8	+10	+20

第4学年に都道府県に用いる漢字25字を  
配当する。

16



### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善②

第4学年に加えた25字

(新たに加えた20字)茨・媛・岡・湯・岐・熊・香・佐・  
埼・崎・滋・鹿・縄・井・沖・栃・奈・梨・阪・阜

(第5学年配当より4字)賀・群・徳・富

(第6学年配当より1字)城

第4学年から第5学年へ移行 21字

困・紀・喜・救・型・航・告・殺・士・史・象・賞・  
貯・停・堂・得・毒・費・粉・脈・歴

第4学年から第6学年へ移行 2字 胃・腸

第5学年から第6学年へ移行 9字

恩・券・承・舌・銭・退・敵・俵・預

17

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善③

[知識及び技能]の改善点3

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

○語彙 才

内容1「語句の量を増す」

(新) 身近なことを表す語句(1・2年)

(新) 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句(3・4年)

(新) 思考に関わる語句(5・6年)

話や文章の中で使うことを通して, 自分の語彙として身に付けていく。

18

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善③

[知識及び技能]の改善点3

○思考に関わる語句

・情報と情報との関係を表す語句「しかし」

・情報全体の中でその情報がどのような位置付けにあるかを示唆する語句「要するに」

・思考そのものに関わる語句「考える」「だろう」

・複数の情報を比べる語句

「～は～より」「～は～に比べて」

・原因と結果の関係「～が～すると…」

19

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善③

[知識及び技能]の改善点3

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

○語彙 才

内容2「語句のまとまりや関係, 構成や変化について理解する」

意味による語句のまとまり(1・2年)

性質や役割による語句のまとまり(3・4年)

語句の構成や変化について(5・6年)

語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して

語や語句を使う。(5・6年) ※ 下線部...(新)

20

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善④

#### [知識及び技能]の改善点4

##### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

###### ○文や文章 カ

主語と述語との関係(1・2年, 3・4年まで継続)

修飾と被修飾との関係(3・4年)

指示する語句と接続する語句の役割(3・4年)

段落の役割(3・4年) … 平20領域より

(新) 文の中での語句の係り方や語順(5・6年)

(新) 文と文との接続の関係(5・6年)

話や文章の構成や展開(5・6年) … 平20領域より

(新) 話や文章の種類とその特徴(5・6年)

21

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑤

#### [知識及び技能]の改善点5

##### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

###### ○言葉遣い キ

丁寧な言葉と普通の言葉との違い(1・2年)

…平20領域「話すこと・聞くこと」より

丁寧な言葉(3・4年)

敬体と常体の違い(3・4年)

…平20領域「書くこと」より

敬語(5・6年)

「言葉遣い」に関する「知識及び技能」として整理

22

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑥

#### [知識及び技能]の改善点6

##### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

###### ○表現の技法 ク

様々な表現の工夫にふれる(1～4年)

(新) 比喩や反復など(5・6年)

23

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑦

#### [知識及び技能]の改善点7

##### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

###### ○音読, 朗読 ク・ケ

語句のまとまりや言葉の響きに気を付けて

音読(1・2年) … 平20領域「読むこと」より

文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音

読(3・4年) … 平20領域「読むこと」より

文章の音読・朗読 … 平20領域「読むこと」より

24

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑧

#### [知識及び技能]の改善点8

##### (2) 情報の扱い方に関する事項 **新設**

<理解> 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したりその関係を捉えたりする資質・能力

<表現> 自分のもつ情報を整理してその関係を分かりやすく明確にする資質・能力

- ア 情報と情報の関係に関する事項
- イ 情報の整理に関する事項

25

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑧

#### ア 情報と情報の関係に関する事項

【第1学年及び第2学年】

ア **共通**, **相違**, **事柄の順序**など情報と情報の関係を理解すること。

【第3学年及び第4学年】

ア **考えとそれを支える理由や事例**, **全体と中心**など情報と情報の関係について理解すること。

【第5学年及び第6学年】

ア **原因**や**結果**など情報と情報の関係について理解すること。

26

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑧

#### イ 情報の整理に関する事項

【第3学年及び第4学年】

イ **比較**や**分類**の仕方, 必要な語句などの**書き留め方**, **引用**の仕方や**出典**の示し方, **辞書**や**事典**の**使い方**を理解して使うこと。

【第5学年及び第6学年】

イ 情報と情報の**関係付け**の仕方, **図**などによる**語句と語句との関係**の**表し方**を理解し使うこと。

27

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑨

#### [知識及び技能]の改善点9

##### (3) 我が国の言語文化に関する事項

文化的に価値をもつ言語そのもの, 文化としての言語, 文化的な言語生活, 多様な言語芸術や芸能

- 伝統的な言語文化
- 言葉の由来や変化
- 書写
- 読書

28

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑨

#### ○ 伝統的な言語文化 赤字…(新)

【第1学年及び第2学年】

ア 昔話や神話・伝承などの読み聞かせ  
我が国の伝統的な言語文化に親しむ

【第3学年及び第4学年】

ア 易しい文語調の短歌や俳句の音読・暗唱  
言葉の響きやリズムに親しむ

【第5学年及び第6学年】

ア 親しみやすい古文や漢文, 近代以降の文語調  
の文章の音読  
言葉の響きやリズムに親しむ

29

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑨

#### ○ 伝統的な言語文化 赤字…(新)

【第1学年及び第2学年】

イ 長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の  
豊かさに気付く。

【第3学年及び第4学年】

イ ことわざ, 慣用句, 故事成語などの意味を知り, 使う

【第5学年及び第6学年】

イ 古典の作品の内容の大体を知ることを通して, 昔の  
人のものの見方や感じ方を知る

30

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑨

#### ○ 言葉の由来や変化 緑字…(移行)

【第3学年及び第4学年】

ウ 漢字のへんやつくりなどから構成されていること

【第5学年及び第6学年】

ウ 語句の由来  
時間の経過による言葉の変化  
世代による言葉の違い  
共通語と方言の違い  
…平20領域「話すこと・聞くこと」より  
仮名及び漢字の由来, 特質

31

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑩ 書写(1・2年)

#### ○ 書写(学習指導要領新旧対照)

【伝統的な言語文化と国語の  
特質に関する事項】

赤字…(新)  
【知識及び技能】

(2)書写に関する次の事項  
について指導する。

ア 姿勢や筆記具の持  
ち方を正しくし, 文字の  
形に注意しながら, 丁  
寧に書くこと。

イ 点画の長短や方向,  
接し方や交わり方など  
に注意して, 筆順に従  
って文字を正しく書く  
こと。

(2)我が国の言語文化に～  
ウ 書写に関する次の事項を  
理解し使うこと。

(ア) 姿勢や筆記具の持ち  
方を正しくして書くこと。

(イ) 点画の書き方や文字の  
形に注意しながら, 筆順に  
従って丁寧に書くこと。

(ウ) 点画相互の接し方や  
交わり方, 長短や方向な  
どに注意して, 文字を正し  
く書くこと。

32



### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑩ 書写(3・4年)

○ 書写(学習指導要領新旧対照)

赤字…(新)

〔伝統的な言語文化と国語の  
特質に関する事項〕

〔知識及び技能〕

(2)書写に関する次の事項について指導する。

- ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。
- イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
- ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。

(2)我が国の言語文化に～  
エ 書写に関する次の事項を**理解し使うこと**。

- (ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。
- (イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
- (ウ) **毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め**、筆圧などに注意して書くこと。

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑩ 書写(5・6年)

○ 書写(学習指導要領新旧対照)

赤字…(新)

〔伝統的な言語文化と国語の  
特質に関する事項〕

〔知識及び技能〕

(2)書写に関する次の事項について指導する。

- ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く早さを意識して書くこと。
- イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。
- ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

(2)我が国の言語文化に～  
エ 書写に関する次の事項を**理解し使うこと**。

- (ア) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。
- (イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
- (ウ) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

34

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑩ 書写

<指導計画の作成と内容の取り扱い>

現行学習指導要領

新学習指導要領

- (2)
- 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は第3学年以上の各学年で行うこと。

- 各学年年間30単位時間程度を配当すること。

カ 書写の指導については、**第2の内容に定めるほか**、次のとおり取り扱うこと。

- (イ) 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
- (ウ) 毛筆を使用する書写の指導は第3学年以上の各学年で行うこと。

赤字…(新)

### 3 国語科の内容[知識及び技能]の改善⑩ 書写

<指導計画の作成と内容の取り扱い>

現行学習指導要領

新学習指導要領

- (2)
- 毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導し、文字を正しく整えて書くことができるようにする……

カ 書写の指導については、**第2の内容に定めるほか**、次のとおり取り扱うこと。  
(ア) 文字を正しく整えて書くことができるようにするとともに、**書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること**。

赤字…(新)

### 3 国語科の内容〔知識及び技能〕の改善⑩ 書写

＜指導計画の作成と内容の取り扱い＞

新学習指導要領

新設

カ 書写の指導については、第2の内容に定めるほか、次のとおり取り扱うこと。

(エ) 第1学年及び第2学年の(3)のウの(イ)の指導については、適切に運筆する能力の向上につながるよう、指導を工夫すること。

「点画の書き方や文字の形に注意しながら書く」ことの指導について  
～指導の工夫……水書用筆等を使用した運筆指導を工夫すること  
早い段階から硬筆書写の能力を高めるための関連的な指導～

### 3 国語科の内容〔知識及び技能〕の改善⑪

○読書 赤字…(新) H20「読むこと」と関連  
新聞、雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する資料を読んだりすることを含んでいる。

【第1学年及び第2学年】

エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。

【第3学年及び第4学年】

エ 幅広く読書に親しむ。

読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを知る。

【第5学年及び第6学年】

エ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付く。

### 4 国語科の内容〔思考力、判断力、表現力等〕の改善

〔思考力、判断力、表現力等〕の改善点1

○学習過程の一層の明確化と、各学習過程

で育成を目指す資質・能力の明確化

○すべての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視する。

→「考えの形成」に関する指導事項

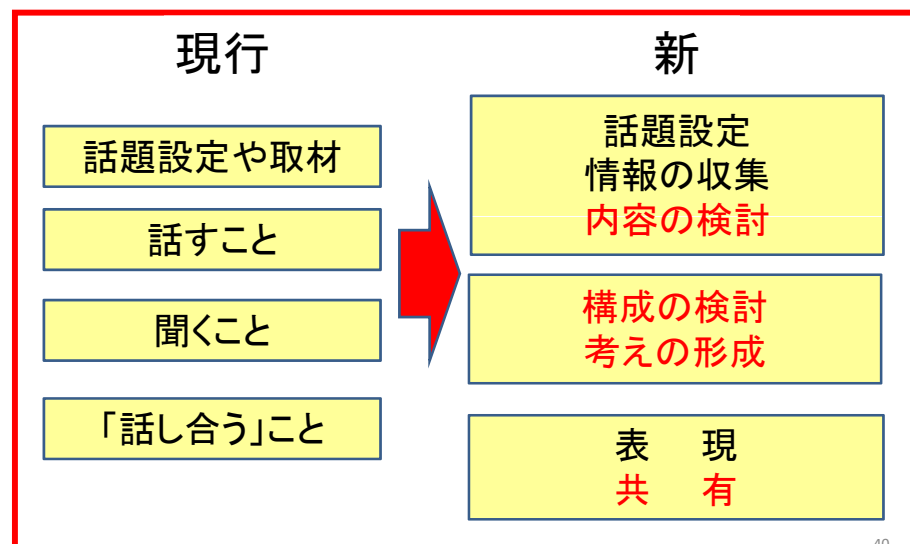
A 話すこと・聞くこと

B 書くこと

C 読むこと

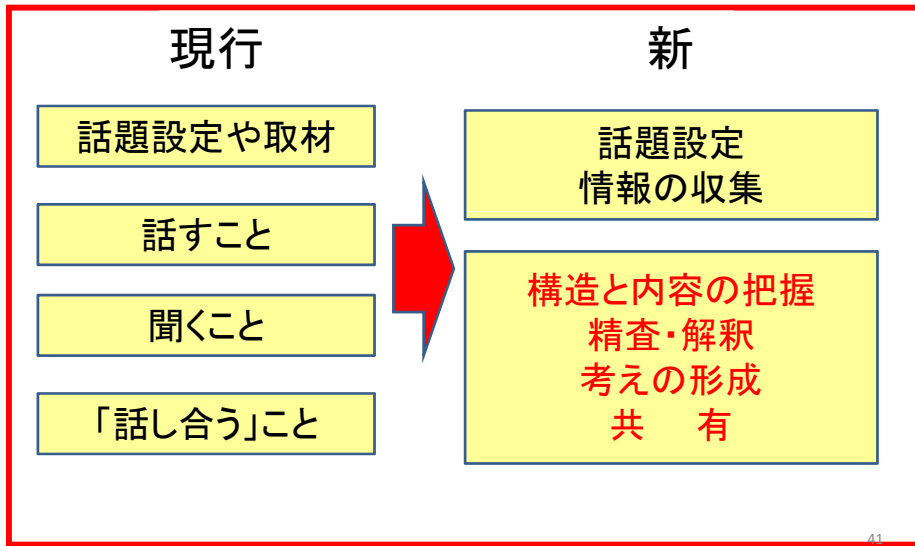
### 4 「新」学習指導要領(国語科)について

「A 話すこと・聞くこと」の指導事項



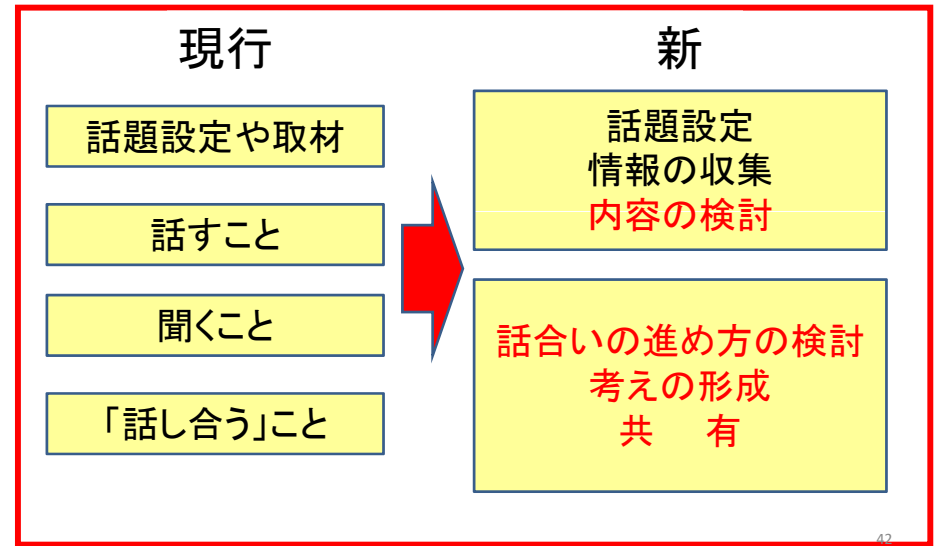
4 「新」学習指導要領(国語科)について

「A 話すこと・聞くこと」の指導事項

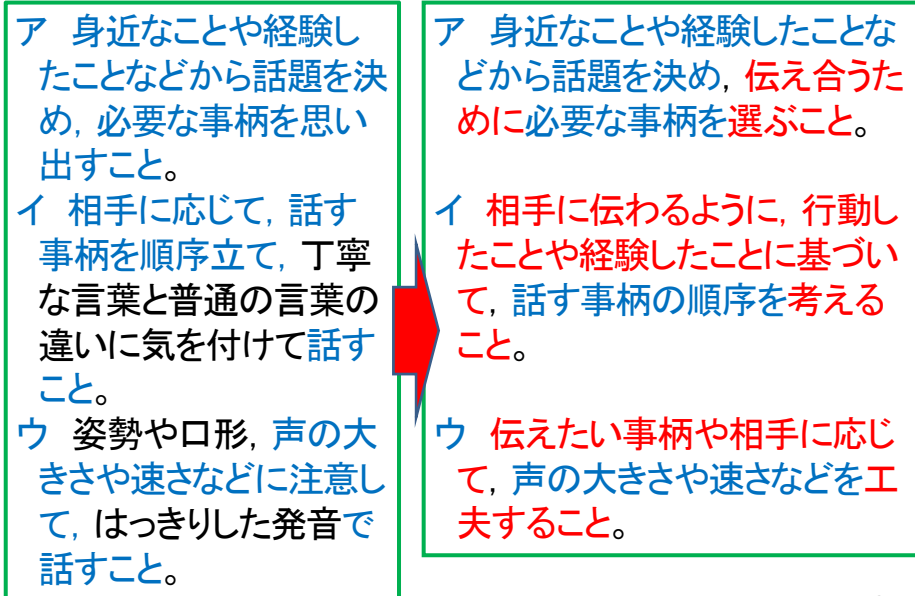


4 「新」学習指導要領(国語科)について

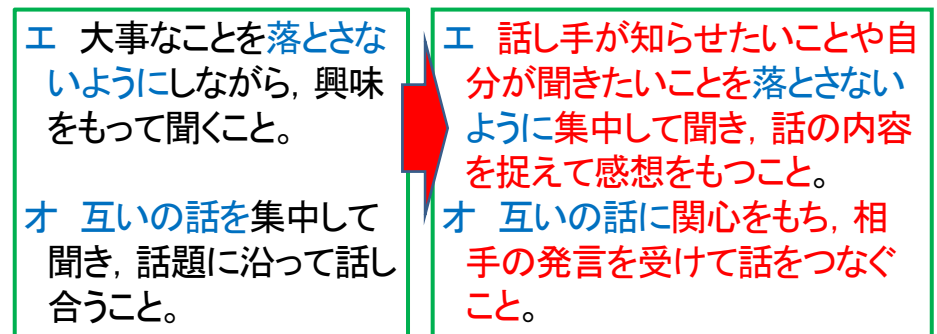
「A 話すこと・聞くこと」話し合うことの指導事項



学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>A話すこと・聞くこと



学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>A話すこと・聞くこと



学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>A話すこと・聞くこと

ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。

イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。

ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。

ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。

45

学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>A話すこと・聞くこと

エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。

オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。

エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

オ 目的の進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめること。

46

学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>A話すこと・聞くこと

ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。

イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。

47

学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>A話すこと・聞くこと

ウ 共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

48

学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>A話すこと・聞くこと

言語活動例

- ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。
- イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合って考えを一つにまとめたりすること。
- ウ 場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人と連絡をし合ったりすること。
- エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。

ア 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。

イ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。

学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>A話すこと・聞くこと

言語活動例

- ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。
- イ 学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。
- ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。

ア 説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。

イ 質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。

ウ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。

学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>A話すこと・聞くこと

言語活動例

- ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。
- イ 調べたことやまとめたことについて、討論などをする事。
- ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。

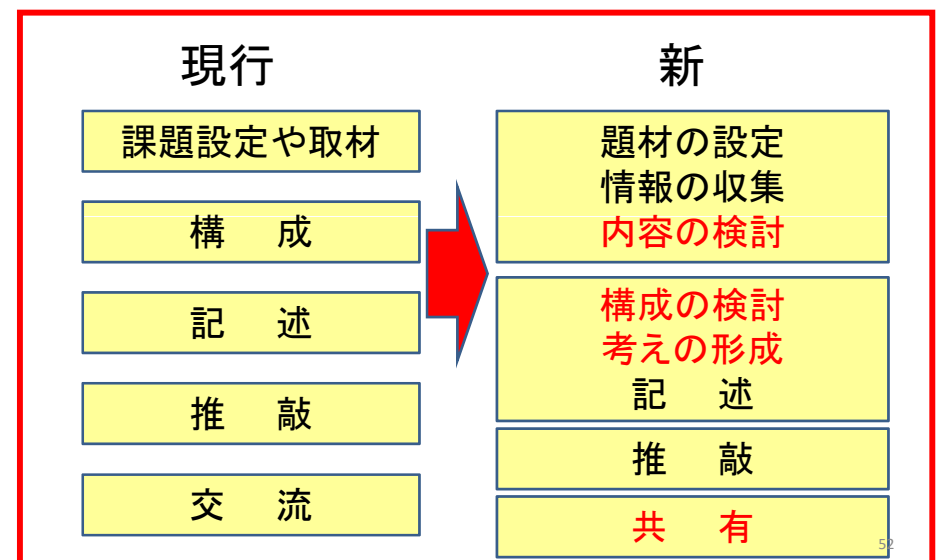
ア 意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。

イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。

ウ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。

4 「新」学習指導要領(国語科)について

「B 書くこと」の指導事項





### 学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>B書くこと

ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。

イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

53

### 学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>B書くこと

エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すこと。

オ 書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合うこと。

エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。

オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。

54

### 学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>B書くこと

ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。

イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。

ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

55

### 学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>B書くこと

エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。

オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。

カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。

エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えること。

オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

56

## 学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>B書くこと

ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

57

## 学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>B書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

58

## 学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>B書くこと

オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

59

## 学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>B書くこと

### 言語活動例

ア 想像したことなどを文章に書くこと。

イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。

ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。

エ 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること。

オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。

ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。

イ 日記や手紙を書くなど思ったことや伝えたいことを書く活動。

ウ 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。

60

## 学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>B書くこと

### 言語活動例

- ア 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。
- イ 疑問に思ったことを調べて報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。
- ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。
- エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。

- ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。
- イ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。
- ウ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。

61

## 学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>B書くこと

### 言語活動例

- ア 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること。
- イ 自分の課題について調べ意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。
- ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

- ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。
- イ 短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。
- ウ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。

62

## 4 「新」学習指導要領(国語科)について

### 「C 読むこと」の指導事項

#### 現行

音 読

効果的な読み方

説明的な文章の解釈

文学的な文章の解釈

考えの形成及び交流

目的に応じた読書

#### 新

構造と内容の把握

精査・解釈

考えの形成

共有

63

## 学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>C読むこと

- ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。
- イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。
- ウ 場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
- エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。

- ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
- イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。
- ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
- エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

64

### 学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>C読むこと

オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ発表し合うこと。

カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

65

### 学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>C読むこと

ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。

イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。

イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

66

### 学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>C読むこと

エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

67

### 学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>C読むこと

ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

68



学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>C読むこと

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

学習指導要領新旧対照<第1学年及び第2学年>C読むこと

言語活動例

ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。

イ 物語の読み聞かせを聞いたたり、物語を演じたりすること。

ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。

エ 物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。

オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。

ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。

イ 読み聞かせを聞いたたり物語を読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。

ウ 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。

学習指導要領新旧対照<第3学年及び第4学年>C読むこと

言語活動例

ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。

イ 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。

ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。

エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。

オ 必要な情報を得るために読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。

ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。

イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。

学習指導要領新旧対照<第5学年及び第6学年>C読むこと

言語活動例

ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。

エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。

ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。

イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。

ウ 学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。



## 5 移行期の指導について

○平成30年度及び平成31年度の国語の指導に当たっては、その全部又は一部について新小学校学習指導要領第2章第1節の規定によることができる。

○現行小学校学習指導要領による場合には、平成30年度及び平成31年度の第4学年並びに平成31年度の第5学年の国語の指導に当たっては、新小学校学習指導要領第2章第1節の別表の学年別漢字配当表によることとする。

73

## 深い学びにつながる3つの発問

### 1. 別の言葉に言い換えてみよう。

(例)「きれい」ってどんな様子なんだろう。  
別の言い方をしてみよう。

### 2. 比べてみよう。比較してみよう。

(例)「きれい」と「美しい」はどう違うんだろう。  
(例)それぞれが得た情報から、ものの見方や考え方を、比較してみよう。

### 3. そう考えた理由は何だろう。

(例)「なぜ」「どうして」を説明しよう。

74